

Live The Adventure



vol.2

Borneo Now

ボルネオの野生動物を救え
動物たちの楽園にしのび寄る危機

世界で3番目に大きい島であるボルネオ島は、日本列島の2倍近くの面積を持つ。ここには、223種の哺乳類と358種の鳥類が棲み、いまだ確認されていない動植物も数多く棲息するといわれている。日本の動物園で見られるボルネオオランウータンもこの島の出身で、世界一小さなゾウとして知られる島固有のボルネオゾウもここに暮らしている。

この動物たちの楽園ともいえる島の自然が、今、危機に瀕している。1980年代、島ではプランテーションの急速な拡大が始まった。その多くはパーム油を絞るアブラヤシ農園で、近年には世界のパーム油の二大生産地になるまで発展。島のい

たる所に工場が建設され、見渡す限りのアブラヤシ農園が地平線の向こうまで広がっているエリアも多い。しかし、森林を切り開いて農園が拡大した結果、森の野生動物たちは棲息地域を次々に追われ、わずかに残された森の中で窮屈に生きていかなくはなくなっている。森を移動して生きる動物たちは、森と森の間に広がる農園を横切ることになるが、そこにはしばしば、動物による作物の被害を避けるために、電流フェンスや捕獲ワナが仕掛けられているという。

豊かな自然と、その一方での破壊。ボルネオで、動物と人が共生していく道はあるのだろうか。

今、ボルネオの ジャングルで進む環境破壊

熱帯雨林の樹々を運ぶ長大なトラック。こんな光景は当たり前になっている



ボルネオ島の熱帯雨林に延びる林道。地上70mにも達する樹々が多くある

ボルネオ島のなかでも最も急速にプランテーション開発が進んだマレーシア・サバ州では、その面積は1984年から毎年10%増え続け、2006年には州面積の17%にあたる120万ヘクタール（東京都の面積は28万ヘクタール）もの土地がプランテーションになった。サバ州以外のエリアでも、今も年率10%を超えるスピードで開発が進んでいる。ところが、こうした事実も、世界の人々にはほとんど知られていない。この島のアブラヤシから搾り取られるパーム油は、インスタント食品や化粧品など、生活のいたるところで日々使用されている。世界中の人々がボルネオ島のパーム油の恩恵に与かっているが、それがボルネオの自然や動植物の犠牲の上に成り立っていることを知る機会はないといつてよく、今、この瞬間にも、森林の減少はなお続いている。

ボルネオ島北東部サバ州にあるキナバタンガン川流域では、川をボートで下るだけで絶滅危惧種に数えられる動物が次々に姿を見せてくれる。樹々を飛び交うテングザルの群れや、河岸を移動するボルネオゾウが現わ

れるのだ。だからといって、それが豊かな自然によるものとは必ずしもいえない。河岸から見える森のすぐ後ろには農園が広がり、ときには河岸ギリギリまで迫っている区域もある。つまり、昔は森の奥深くに生きていた動物たちが、農園に棲息地域を狭められ、河岸付近のエリアに追いつめられているのだ。

農園は広大な熱帯雨林を切り開いて、森と森を分断させる。食べ物を求めて森から森へ移動していた動物はひとつの森の中に閉じ込められてしまう。そのまま食糧難に陥った動物はただ餓えるしかない。これが、ボルネオゾウをはじめ、貴重な野生生物たちが現在追い込まれている実情である。

こうした状況を改善するべく、マレーシア・サバ州政府の野生生物局では、キナバタンガン川流域に自然保護区を設置。しかし、これだけでは充分ではなかった。食べ物求めて森から森を移動する動物にとつて、より広範囲な森林が必要とされていたのだ。狭い森に閉じ込められた野生生物は、遺伝子が均一化し、環境変化に適應する能力が著しく弱まっ



キナバタンガン川流域の光景。写真上) 河岸の森林も消失した 写真中) 各地でブルドーザーが森林を切り開いている 写真下) 緑の回廊一号地の周辺図

てしまう。絶滅危惧種に指定されているボルネオゾウやオランウータンにとつてはより深刻な問題である。そのため、広い範囲での森林の回復が一刻も早く求められていた。

そこで、サバ州野生生物局、企業、農園主などが集まり、2006年からボルネオ保全トラスト(BCT)によるプロジェクトが始動した。JICA(国際協力機構)の野生生物生息域管理専門家としてボルネオに派遣された坪内俊憲氏をBCT事業責任者として迎え、森と森を分断している農園の土地を買い取り、野生生物の往来できる道を回復させる事業を始めた。

「緑の回廊計画」と名付けられたこのプロジェクトは、2008年になって具体的に実を結び始めた。初めて土地購入に成功したキナバタンガン川流域にある2ヘクタールの広さの場所に、ゾウたちが移動した足跡を確認することができたのだ。

こうした活動を持続的に行うことで、森と農園のバランスを取りながら、人間と野生生物の棲み分けが可能になる。ボルネオゾウも森を自由に移動し、川を渡り、食べ物を求め



野生に生きるレッドリーフモンキー（左写真）と、セピロクオランウータンリハビリセンターで人間を見つめるオランウータン（上写真）



BCTとは？
（ボルネオ保全トラスト）

マレーシア・サバ州政府から免税措置を受けている環境保全体。森を分断する土地を買い取り、緑の回廊としてつなく活動を中心としている

日本窓口：ボルネオ保全トラストジャパン www.bctj.jp

て広大なエリアを往来できる。アブラヤシ農園に侵入し、人間と衝突することも少なくなるだろう。
とはいえ、BCTが目標とする土地購入面積は総計で2万ヘクタールもあり、この土地すべてを購入し、分断されてしまった森同土をつなぐには、200億円以上もの巨額の資金が必要になる。多くの人々の関心

ブランドの象徴である 野生動物の危機を 見過ごすことはできない

ボルネオ島に棲息するボルネオゾウ。DNA調査では、数万年前から島で生きていたことがわかった



や協力なしでは果たすことのできないプロジェクトでもある。
ハンティング・ワールドも、売り上げの一部をBCTに寄付している。自然や野生動物をブランドのアイデンティティとし、牙のない仔象をブランドロゴに掲げるハンティング・ワールドにとって、こうした自然環境の危機は、見過ごすことのできない問題であるからだ。
しかしそれも、さらに多くの人々の力なくしては目的を達成することはできない。寄付や資金も重要だが、もっと大切なことは人々の「関心」

である。世界中の人々がボルネオのブランドションで生産されるパーム油を利用している。しかしその裏側で何が起きているのかは知らない。その無知こそが、本当の危機なのだ。
現実を知りさえすれば、何かをしようという気が起こる。ひとりの力は小さくとも、世界中の人の関心を集めることができれば、それは本当に大きな力になる。ハンティング・ワールドのチャリティー活動も、そうした「真に大きな力」を生み出すきっかけを作るためなのである。

ボルネオ環境保護支援の チャリティーグッズを発売

BCT（ボルネオ保全トラスト）支援のチャリティーグッズ第2弾が新たに発売になる。第1弾のテーマは「自然との共生」。ひとりの少女とさまざまな自然とのふれあいを描いていた。第2弾となる今回もそのストーリーを継承。少女がボルネオで出会っ

た動物たちがモチーフになっている。イラストには、ボルネオ島に棲む野生生物34種が描かれ、本来あるべきボルネオの自然の豊かさを表現。チャリティーバッグの#7100と#7101は、ふたつ合わせるとイラストの全容が浮かび上がる仕組みにもなっている。

チャリティーバッグ

#7100 W31×H28×D12cm ¥15,750
#7101 W35×H35×D13cm ¥17,850

第2弾となるチャリティーバッグ。大小2サイズ。スエード調素材とナイロンのリバーシブル仕様

チャリティーパーカ

Material：コットン75%、ポリエステル25%
Color：グレー、ブラック、カーキ Size：S, M, L, LL ¥13,650

写真右はバッグと同じイラストパターン。写真左は、ブランドコンセプトを摩天楼ふうデザイン



Catch up!



QUILTED HALF JACKET MEN'S

SIZE: 48~54
 COLOR: Navy, Khaki, DarkBrown, Gray
 FABLIC: Cotton80%, Nylon20%
 ¥58,800

ライトなキルティングジャケット。
 ゆったりしたアームホールで、ス
 ーツと合わせても着脱しやすい。
 フード付きレディスタイプもあり



#3808

SANDUKU-dura

#3776 W34×H30×D8cm
 ¥99,750

高強度コーデュラナイロン×レザ
 ーコンビの新作ビジネスアイテム。
 カード入れや携帯ホルダーなど、
 多機能なポケットを装備



#3811

#3810

#3807

BATTUE BEYOND

#3807 W19×H25×D11cm ¥108,150
 #3808 W33×H31×D13cm ¥136,500
 #3810 W31×H24×D10cm ¥89,250
 #3811 W36×H27×D14cm ¥122,850

ブランドのアイコンともいえるオリジナル素
 材「パチュール・クロス」を採用した新作4モ
 デル。ショルダーやメッセンジャーのほか、
 ハンティング・ワールド久々のカメラバッグ
 (#3808) もラインアップに加わった。カラ
 ーはグリーンとブラックの2色展開



ENCOMPASS JACQUARD

#3786 W41×H32×D15cm
 ¥79,800

マグネット開閉式のカジュアルで
 ファッショナブルなトートバッグ。
 使い勝手のよい絶妙なサイズ。準
 定番コレクションの追加モデル。
 ブラックとベージュの2色展開



MIDLANDS

#3818
 W35.5×H29×D13.5cm
 ¥142,800

クロスショルダーとして、そして
 肩掛けバッグとしても使える2ウ
 ェイバッグ。オールレザー製。ブ
 ラウンの新品もあり



#3756

#3815

#3790

#3799

BATTUE LEATHER

#3756 W24.5×H14.5×D8.5cm ¥63,000
 #3815 W36×H29×D10cm ¥92,400
 #3790 W40×H25×D5cm ¥116,550
 #3799 W27×H33×D10cm ¥124,950

オールレザーのハイエンドシリーズ「パチュ
 ールレザー」に、新たなモデルがラインアップ。
 男性用ショルダーの#3799はブラック/ブ
 ラウン/ネイビーの3色展開。ほかはすべて
 女性用で、新色コンビとなるカーキ/ネイビ
 ーの2色を用意

SALT & PEPPER LEATHER



#874

#889

#873

873 W19×H9×D2.5cm ¥50,400
 874 W11.5×H9.5×D2.5cm ¥39,900
 889 W11×H8×D2cm ¥32,550

オン・オフいずれにもマッチするピジ
 ネスシリーズ「ソルト&ペッパー」に、
 新作アクセサリが加わった。ライン
 アップは、財布2タイプ、カードポケ
 ット、キーケース、キーホルダー、カ
 ードケースの6モデル



#3721

#3720

BRYCE ROCK

#3721 W51×H35×D15cm ¥346,500
 #3720 W26×H34×D8.5cm ¥210,000

独特の光沢と質感が特徴のシャイニーレザー
 を採用したショルダー2タイプ。カジュアル
 でありながら高級感あるエレガントな存在感
 が魅力。しなやかなナチュラルレザーは、使
 い込むほどに味が出て、長く愛用できる

*表示価格はすべて税込み。各商品の発売時期や仕様については、ブティックスタッフまでお問い合わせください